

全県共通事業重点メニュー「食品ロス削減事業～食品ロス削減で脱温暖化大作戦～」

事業概要

「食品ロス」とは、本来食べられるにもかかわらず捨てられてしまう食品をいう（消費者庁）。

「食品ロス」は、世界全体で増加傾向にある。また、SDGsの目標12「つくる責任つかう責任」の中で、世界全体の食品廃棄を半減させると記しており、世界を取り巻く課題である。

環境づくり事業の一環として、「食品ロス削減（2000年度と比べて、2030年度に半減）」を目的に、食品ロスを啓発するキャンペーンを展開する公衛協を支援した。

事業内容

令和6年度は、重点メニューとしての取り組み初年度となるため、より多くの住民に啓発すること、行動変容のきっかけを作ることをねらいに、イベントでの啓発に力を入れた。

また、いずれの取り組みでも、選択式のアンケートを実施した。

【取り組み内容】

- ①食品ロス削減の実践呼びかけ（9件）
お祭りの公衛協ブースやステージイベントで、展示やクイズ大会を実施し、来場者に食品ロスについて学んでもらった。
- ②「食ロス」出前講座（9件）
推進委員の集まる場や、公衛協が主催する研修会で食品ロスをテーマにした学習会を開催した。
- ③廃棄した食品のチェック（1件）
所定のチェックシートを使い、食品ロスの発生状況（重さ、種類、理由）を調べた。

【アンケートの実施】

事業実施に併せて、アンケートを行った。

知っていますか？
食品ロスが地球温暖化に関係していること

地球にやさしく
もったいないね

世界で排出される温室効果ガスのうち、8～10%は食品ロスに由来しています。
（国連食糧農業機関）

食品ロスに関するアンケートにご協力ください。
みなさまからいただいた回答をもとに、今後の活動テーマの検討を行い、広域内の食品ロス削減につけてまいります。

1. あなた自身について

性別 ☐男性 ☐女性 ☐その他
年齢 ☐20代以下 ☐30代～50代 ☐60代以上

2. 「食品ロス」について

①あなたは「食品ロス」が問題になっていることを知っていますか。
☐はい ☐いいえ

②あなたは、減量、断食、断食や食べ残しなどで食品を捨ててしまったことがありますか。
☐はい ☐いいえ

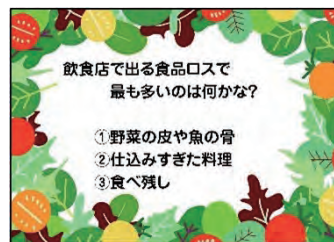
③あなたは「食品ロス」を減らすために取り組んでいることがありますか。
☐はい ☐いいえ

裏に続く

実施したアンケート

【啓発グッズ】

- ①「食品ロス」クイズ学習教材（3択式22問）
対象：小学校中学年以上（4セット）
A3サイズ・カラー ラミネート加工
表に問題、裏に回答と簡単な解説を表記
- ②「食品ロス」クイズ学習教材（3択式10問）
対象：小学校低学年以下（3セット）
A3サイズ・カラー ラミネート加工
表に問題、裏に回答と簡単な解説を表記



対象：小学校中学年以上



対象：小学校低学年以下



【ノベルティ】

- ①食品ロス対策マグネット
- ②ジップロック
- ③鮮度保持袋



ノベルティ（3種類）

令和6年度の実績（アンケートの結果）

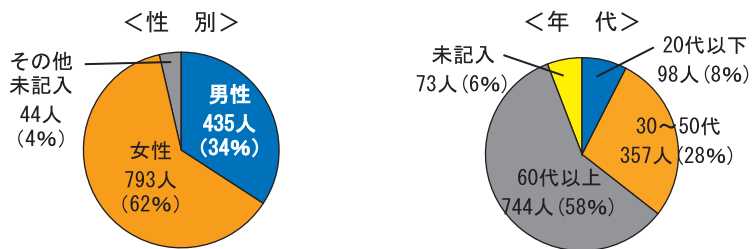
○14 公衛協が 19 件の取り組みを行った。

（府中町・海田町・江田島市・竹原市・大崎上島町・大竹市・
廿日市市大野・廿日市市佐伯・東広島市・三原市・尾道市・
福山市・三次市・庄原市）

○1,822 枚のチェックシートを配布し、1,272 枚を回収した。
（回収率 69.8%）

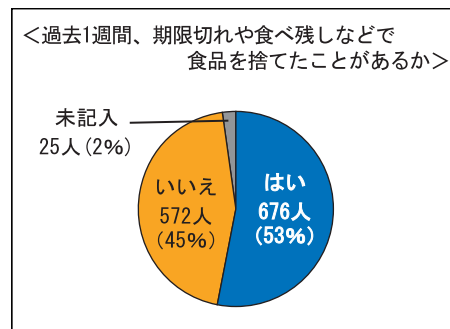
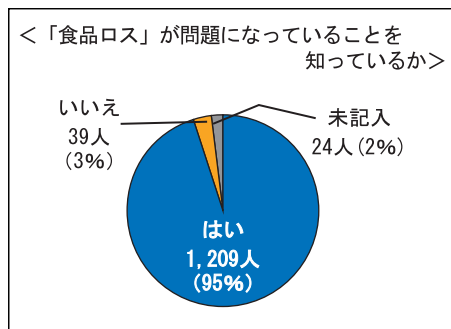
○回答者の属性

回答者の性別は、男性 435 人、女性 793 人、未回答 44 人だった。
回答者の年代は、20 代以下が 98 人、30 代～50 代が 357 人、60 代以上が 744 人、未回答が 73 人だった。60 代以上が 58% を占めていた。



○食品ロス問題の認知度と食品ロスの現状

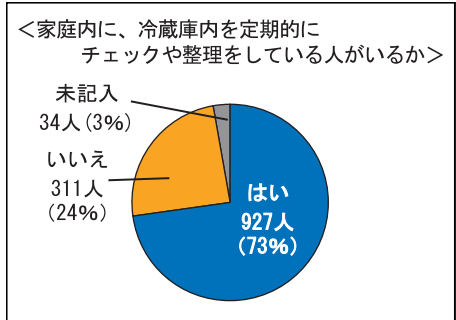
食品ロス問題の認知率は 95% と高いにも関わらず、50% 以上の人が直近一週間以内に食品を捨ててしまっていることが分かった。



○冷蔵庫の定期的なチェックや整理整頓の状況

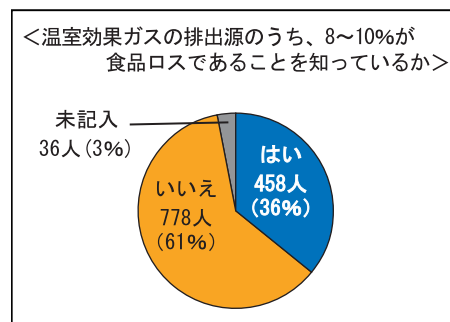
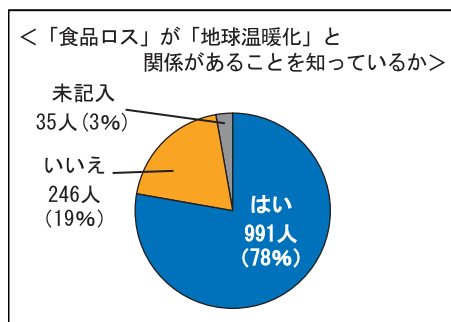
定期的な冷蔵庫内のチェックを行っていないという回答が約 30% あった。

冷蔵庫内のチェックを習慣化することで、更なる食品ロス削減につながられると考えられる。



○冷蔵庫の定期的なチェックや整理整頓の状況

食品ロスが地球温暖化に寄与することは知っている（78%）が、寄与率まで知る人（36%）はまだ少なく、食品ロス問題の解決と脱温暖化を達成するために、継続した啓発が必要と考えられる。



令和6年度の実績

食品ロス削減事業の取り組みを促進するため、以下の通り啓発活動を行った。

No.	公衛協名	実施内容	実施日	参加人数
1	東広島市	「食ロス」出前講座	5月15日	59人
2	大竹市	「食ロス」出前講座	7月26日	39人
3	海田町	廃棄した食品のチェック	8月	75人
4	尾道市	食品ロス削減の実践呼びかけ	8月4日	100人
5	福山市鞆学区	「食ロス」出前講座	8月26日	25人
6	大崎上島町	「食ロス」出前講座	9月26日	23人
7	大崎上島町	食品ロス削減の実践呼びかけ	10月1日	100人
8	竹原市	食品ロス削減の実践呼びかけ	10月6日	100人
9	府中町	食品ロス削減の実践呼びかけ	10月12日	300人
10	庄原市東城地区	食品ロス削減の実践呼びかけ	10月20日	100人
11	廿日市市佐伯	食品ロス削減の実践呼びかけ	10月26日	700人
12	三原市	食品ロス削減の実践呼びかけ	10月26日	146人
13	福山市道上学区	食品ロス削減の実践呼びかけ	10月26日	90人
14	三次市	食品ロス削減の実践呼びかけ	11月17日	1,260人
15	廿日市市佐伯	「食ロス」出前講座	11月29日	40人
16	福山市鞆学区	「食ロス」出前講座	12月23日	20人
17	廿日市市大野	「食ロス」出前講座	1月22日	42人
18	江田島市	「食ロス」出前講座	2月1日	37人
19	大崎上島町	「食ロス」出前講座	2月22日	28人



夏休み子ども環境まつり(尾道市)



道上学区ふれあいまつり
(福山市道上学区)



ハピネスフェスタ(三次市)



出前講座(江田島市)



出前講座(大崎上島町)

成 果

- 14公衛協から19件の申請があり、講師派遣や啓発グッズの貸し出し、ノベルティの提供を行った。
- 食品ロスの認知度は95%で、昨年度の調査結果(93%)よりも高くなった。
- 廃棄した食品のチェックにより、購入した食材を使いきれずに廃棄している人が多いことがわかった。また、野菜の廃棄率が高いことがわかった。
- 約30%の人が定期的な冷蔵庫のチェックを行っていないことがわかった。

令和7年度に向けて

- 令和7年度も引き続き、全県共通事業重点メニューとして展開する。
- 新規の取り組みとして、購入した食材の追跡調査(冷蔵食品編)を行う。
- 効果的な食品ロス対策を行うため、廃棄しがちな食品の調理の工夫や、期限表示などの正しい理解のための啓発活動を今後も継続する。
- アンケートは、若い世代の取り込みや省資源化・省力化を狙いに、インターネットを活用し、2次元バーコードを使用したWeb回答を取り入れる。